



## 「本気で生きる」

長崎明誠高等学校 校長 安藤 嘉朗

コロナ禍で迎えた新年度ですが、四月八日の始業式・入学式から三か月余りが過ぎ、新しい環境の中、全校四百名の生徒達は全体的に落ち着きがあり順調にスタートを切ったように思います。

新入生研修や部活動入部集会、各種の健康診断や学級役員任命式、歓迎遠足など、年度当初の行事も無事終えることができました。また、先日、県高総体では、九州大会やインターハイへの出場権を獲得した柔道部やボート部をはじめ、運動部ごとに昨年度を上回る結果や手応えを感じたように思います。また、陸上部の九州選手権出場や放送部の全国大会出場、柔道部山里さんの世界カデ大会出場など、今後の活躍が楽しみです。現在は、第一回審査も終わり、一・二年生は三年生から部活動等で体制や役割を引き継ぎ、三年生は自らの進路実現に向け「待ったなし」と言った状況でしょうか。

さて、「コロナ禍も三年目に入り、「ウィロ」時代の教育をどう考えるかを問われる中、近頃「本気で生きることが難しい時代」になったと感じています。そして、それは生徒達も同じではないか、

「本気で物事に向き合わない、本気で思いをぶつけられない」のではな

いかと心配しているところです。この二年間、学校生活を送る中で修学旅行やこのうみ祭文化の部、部活動の大会をはじめ多くの行事が中止・延期となり、余りにも「諦める」ことが多く、慣れてしまったように思います。この「諦める」ということは、ある意味、自分を守る「防衛反応」として、落胆しないため、傷つかないためには仕方がないことかもしれませんが、やはり本気でないと成長に繋がらないし、本物にはなれないと思うのです。何事も自分がやった分だけ、本気になって思いをかけた分だけ、結果となって自分に返ってくることを忘れないよう、しっかりと



と伝えていきたいと思えます。

そのような意味で、「可能な限り教育活動は止めない」「生徒が本気になる場面を削らない」「何とかできる方法を考える」との思いを強くしているところです。

今年度もコロナ感染防止と熱中症予防に最大限注意しながらということには変わりありませんが、校訓「自主・自律」、生徒会スローガン「一致団結」の下、「成長できる学校、信頼される学校、居場所のある学校」を目指し、生徒を主役とした教育活動を展開して参ります。職員一同、生徒一人ひとりの夢が実現できるよう本気で支援して参りますのでよろしくお願ひします。

※「世界カデ大会(世界カデ柔道選手権大会)」は国際柔道連盟が主催する一五〜一七歳選手による世界選手権。二年ごとに開催される。

### 7月後半～8月の行事予定

- 7月
  - 15日(金) 球技大会
  - バス路線別集会
  - 20日(水) 全校集会 アルバイト希望者集会
  - インターハイ吹奏楽部壮行式
  - 21日(木) 夏季休業(～8/23)
  - 27日(水) オープンスクール
- 8月
  - 1日(月) 夏期特別学習会(3年)(～6日)
  - 9日(火) 登校日 平和学習
  - 10日(水) 学校閉庁日(～15日)
  - 16日(火) 夏季補習(後期～19日)
  - 20日(土) 土曜講座 小論文模試(3年)
  - 24日(火) 全校集会 表彰伝達 容儀指導
  - 進路希望調査(1・2年)
  - 27日(土) PTA校内除草作業

### オープンスクール

- 7/27(水) 9:00～ 受付
- 9:30～ 学校説明・体験授業
- 11:15～ 部活動見学(自由参加)

### 地区別学校説明会 (18:30～19:30)

- 8/22(月) 長与町勤労青少年ホーム
- 23(火) 本校
- 24(水) 三重地区市民センター
- 26(金) 時津町公民館
- 29(月) 長崎市北公民館
- 30(火) 西彼農村環境改善センター



### 制服完全リニューアル!

今年度の一年生から、制服がリニューアルしました。夏服は斬新なオーバーブラウス(裾出し)タイプです。色も三色から選べるのに加え、セーターやベスト、さらにはネクタイやリボンとの組み合わせも自由と、幅広く楽しめます。また、冬服のスカートは「陰ひだ(ただたんどきに表面から見えない部分のひだ)」にストライプが入った「こだわりの」デザインとなっています。



### 歓迎遠足

四月二十八日、歓迎遠足で「さくら」の里に行きました。対面式では一年四組の山内豊就さんが立派に挨拶し、生徒会役員企画の「借り人競争」も全校生徒で楽しむことができました。自由時間には期せずしてカラオケ大会?も行われました。



# 高総体を終えて

各部 主将より

## 陸上競技部 (菅原 卓摩)

今回の高総体はコンディションが悪い中選手一人一人がゴールまで力を抜かず走り抜けたのでとてもよかったです。予選で落ちた選手も自身の自己ベストを更新できるよう頑張っていたのでとてもよかったです。1・2年生にはこれからの練習を今まで以上に頑張る来年、再来年では北九大大会に出場できるように頑張ります。

## ソフトテニス部男子 (益雪 大輔)

ソフトテニス競技は、6月4日から7日の4日間に渡って県高総体が行われました。納得いく結果は出ませんでした。選手一人一人がこれまでお世話になった顧問の先生方や保護者の皆様への感謝の気持ちを忘れず、全力を尽くしてプレーしていただけた良かったです。今回の結果をバネに1・2年生には悔いなく終われるように頑張ります。

## ソフトテニス部女子 (後藤 瑠衣)

団体戦は2回戦敗退、個人戦は3ペア中1ペア2回戦敗退、2ペア初戦敗退という結果でした。目標を達成できた部分もありませんが思い通りにいかないプレーも多く私は、今までの練習の質に後悔しました。1・2年生は高総体まで残りまだまだあるので練習する意味を考え練習の質をあげて欲しいです。これから日々の練習頑張ってください！皆さんがすべての大会で、後悔のこないようなプレーができることを願っています。

## バレーボール部 (田中 生子)

私たちは6月4日に島原商業高校と対戦し、惜しくも敗退してしまいました。人数が少なく試合に出るのも厳しいという状況を経験したからこそ、今まで少ない人数でも助け合ってきた仲間達や、ご指導してくださった先生方、どんなときも応援してくれた保護者の方々が高総体に出られるということに感謝を忘れず、最後までプレーすることができました。いい報告はできませんでしたが、応援してくださりありがとうございました。

## バスケットボール部男子 (森隆 一朗)

私達は2回戦で、諫早高校にあと一歩およばず敗戦しました。ここで勝利していたらバストゥーに入れたので2試合目で敗北したのがとても悔しかったです。後輩たちには私たち3年生の分まで頑張ってもらいます。ここまで楽しく本気で部活ができたのは応援し支えてくれた鬼塚先生、笹井先生、保護者の方々のおかげです。これからは進路達成に向けて頑張りたいと思います。本当に今までありがとうございました。

## 卓球部 (小川 航平)

先日の高総体では、団体1回戦敗退、個人戦は、単複ともに2回戦敗退でした。最後の大会で自分の力を思いきり出すことができたので悔いなく終わることができました。顧問の光富先生・山下先生の約3年間有難うございました。1・2年生の皆さん時間が過ぎるのはあっという間なので1日1日の練習を支えあって頑張ってください。応援しています。

## 弓道部男子 (溝口 悠貴)

昨年の高総体で全く結果が出せず、悔しい思いをし、来年こそは決勝リーグに進出するという目標で今まで練習をしてきました。しかし、今年の高総体でも決勝リーグに進出することができず予選敗退という結果に終わってしまいました。今年果たせなかった目標は後輩たちに託し、試合で活躍してほしいと思います。

## 弓道部女子 (松本 藍利)

今回の高総体は、弓道初心者ばかりの新チームで出場しました。頑張りましたが、残念ながら決勝リーグにはいけません。残念ながら決勝リーグにはいけません。今後は8月に控えている新人戦に向け頑張っていきたいと思っています。来年の高総体では悔いなく、うれし涙で最高の高総体にしたいです。

## 柔道部 (大江田 美紅)

高校生最後の高校総体はサポートとして参加しました。怪我により出られなかったのは悔しかったです。次のステップで活躍するための準備と自分で分なりにチームを支えることができました。柔道部の目標は日本一なのだと思います。県総体を無事に通過できたことに少しほっとしています。まだまだこれから九州ジュニアや金鷲旗などインターハイまで試合は続きますが、インターハイで優勝できるように頑張ります！



## サッカー部 (森田 一波)

サッカー部は1回戦からきつい試合となる中、毎試合最後の一分一秒まで諦めず全体が一致団結して2試合に勝利し、バストゥーという成績で終えることができました。とてもよかったです。1・2試合目の会場が明誠高校ということもあり、生徒や保護者、先生方が応援してくださった中、試合ができたことに感謝したいと思います。これからもリーグ戦や選手権といったさまざまな大会で更なる高みを目指して頑張っていきます。



## バドミントン部男子 (鶴田 智希)

3年生にとって最後となった高校総体は、納得いく結果を出すことができません。終わってしまいました。必死に努力して、試合の度に反省点を挙げ、次の試合につなげようと頑張ってきましたが、相手校の気迫を抑えることができませんでした。悔し涙を流すことになりました。しかし、努力が報われなくても、「諦めない心」を選手全員は鍛え上げることができたので、この先それぞれの道で諦めずに頑張っていきたいです。

## バドミントン部女子 (山崎 心愛)

私たちは、高総体に出場して、改めて恵まれた環境のなかで活動できていたのだと感じました。応援に来てくださった保護者の方々や校長先生など、とても力になりました。今まで頑張ってきたので、これからは進路達成に向けて後悔のないような選択をしていきます。頑張ります。

## ボート部男子 (佐藤 青柊)

先日の高総体では、シングルスカル予選敗退ダブルスカル二位クォドルブル一位総合で二位という結果でした。上位大会への出場権を獲得できたのは、自分たちの努力はもちろん今までご指導していただいた木村先生、土橋先生、猪野先生のおかげです。1・2年生の皆さんはこれからきつい練習を乗り越えて悔いのないレースをしていってください。応援ありがとうございます。

## ボート部女子 (中谷 桜花)

今回の高総体で、2位という結果に終わり、目標にしていたインターハイ出場には叶いませんでした。しかし、九州大会では決勝に行くことができ、4位という結果を残せました。また、初めてうれし涙を流すことができました。諦めず強い気持ちで戦うときっと神様は味方してくれるのだと感じました。

行事等の学校の様子は本校のホームページでも公開しています。ぜひご覧ください！